

|         |   |   |     |        |             |
|---------|---|---|-----|--------|-------------|
| ①事業名    | 地域情報通信基盤整備推進交付金事業   |   |     |        |             |
| 事業の概要   | ⑩総事業費   | 96,633,600円                                   |     | ⑨事業完了日 | 平成23年3月17日  |
|         |   |   |     | ⑫交付金額  | 32,211,000円 |
|         | ⑬整備対象地域   | 越知町野老山、横畠中、横畠北、鎌井田本村、鎌井田桑藪、片岡、南片岡、黒瀬、宮ヶ奈路、桐見川 |     |        |             |
|         | ⑮事業の内容  |   |     |        |             |
|         | <p>当町は過疎地域等の条件不利地域であり、中心部以外については、採算性が合わないために、民間の設備投資によるブロードバンド接続環境が整備されておらず、都市部との間で情報格差が生じていた。</p> <p>当該地域の情報通信格差を是正するため、中心部以外の一部の地域(野老山、横畠中・北、明治)において、無線アクセスサービス(FWA)により、ブロードバンド環境を整備し、それ以外の地域(桐見川)については、衛星によるブロードバンド環境を整備した。</p> <p>無線アクセスサービス(FWA)と衛星ブロードバンドの導入により、ブロードバンド接続環境が整備され、都市部と同等のネットワーク環境と接続料金で町民向けインターネット接続サービスの展開を図った。</p>             |   |     |        |             |
| BB      | ⑯サービス開始日  | 平成23年3月18日                                    |     |        |             |
|         | ⑰サービス形態   | 公設民営  |     |        |             |
|         | ⑱契約先  | 株式会社高知通信機、株式会社シーオーテック                         |     |        |             |
|         |   | ⑲整備計画時の目標                                     |     | ⑳実績    |             |
|         |   | 初年度   | 最終  | H23年度末 | H27年度末      |
|         | 整備地域の世帯数  | 677   | 677 | 538    | 430         |
|         | 加入世帯数   | 227   | 227 | 55     | 45          |
| 加入率(%)  | 34  | 34  | 10  | 10     |             |
| CATV    | ㉑サービス開始日  |   |     |        |             |
|         | ㉒サービス形態   |   |     |        |             |
|         | ㉓契約先  |   |     |        |             |
|         |   | ⑲整備計画時の目標                                     |     | ⑳実績    |             |
|         |   | 初年度   | 最終  | H23年度末 | H27年度末      |
|         | 整備地域の世帯数  |   |     |        |             |
|         | 加入世帯数   |   |     |        |             |
| 加入率(%)  |   |   |     |        |             |
| ㉔評価及び課題 | <p>ブロードバンド環境の整備により、中心部と同じように情報収集が可能となった。しかし、風や大雨の影響により通信が遮断されたり、通信が遅くなったりといった回線の不安定さがあり、初期導入料の負担感の大きさを考えると加入者にとって満足できる通信であるとは言いがたい状況である。</p> <p>また、事業終了後2～3年後に中心部が「光回線」となり近くで超高速ブロードバンドに触れる機会が増えたこと、ブロードバンド導入地域において携帯電話・スマートフォンの普及・電波状況が向上していることもあり、当初目標としていた加入者数には到達していないのが現状である。</p> <p>今後さらに高齢化が進んでくることも予想されるため、IRU契約業者と抜本的に検討をすすめていかなければならない。</p> |   |     |        |             |